

給食だより H21.3月

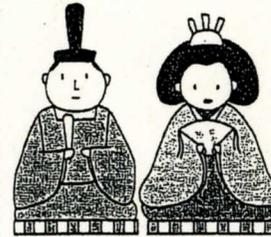


給食をふいかえて...

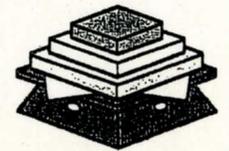
この1年間、正しい食事の仕方や当番の仕事など、きちんとできましたか？
給食について「1年間の反省」をしてみましょう！



3月3日はひなまつり！！



3月3日は『ひなまつり』です。
『ひなまつり』のお祝い膳には、よくはまぐりを使った潮汁やひしもちがつけられます。
はまぐりを使った料理をひなまつりに出すのは、はまぐりの貝がらがほかの貝がらと絶対に合わないことから、「良い人にめぐりあい、幸せな結婚をしてほしい」という願いがこめられているからです。



また、『ひしもち』の色には、冬から春への喜びが表されていて『赤は桃の花』・『白は雪』・『緑は新緑』となっています。

ひしもちの秘密

ひな祭りにおひなさまといっしょに飾るひしもち。お菓子ようですが、決して甘いもちではありません。

ひしもちには赤白緑の3色を重ねることが多いようですが、それぞれの色には意味があります。赤は桃の花を表し、健康を祝い、白は残雪をイメージし、清らかさを表します。そして緑は春に芽吹く若草を表します。またなぜひし形かといえは、植物の「菱」がとてもよく増えることから、その実の形をまねることで、子孫繁栄や長寿の願いを込めたことされています。

グれないで！ハマグリ

「グれる」という言葉はハマグリに由来します。源氏物語にもあるように、昔はハマグリを貝殻を使って「貝合わせ」という遊びをしました。これはペアの殻以外とはピッタリと合わない性質を利用したもの。そこから逆に読んで食い違っていないことを表す、「ぐりはま」という言葉ができます。これが「くれはま」、「ぐれ」と略され、動詞となって「グれる」とすれば、再び仲直りすることは「はまぐる」といってもいいかもしれませんね。

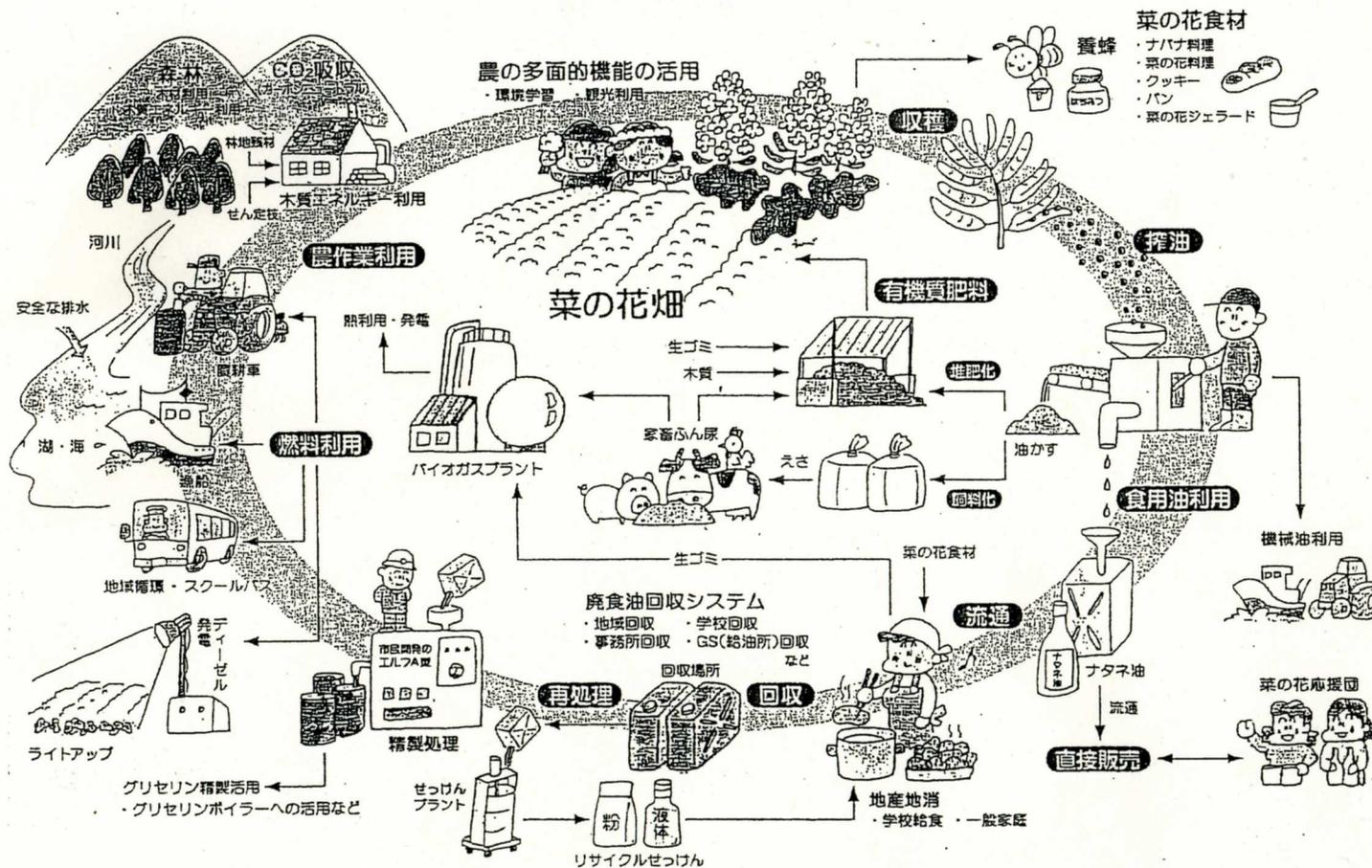


須賀川市「菜の花プロジェクト」について

NANOHANA PROJECT

菜の花プロジェクト循環サイクル

Power of Circulation



須賀川市では、地域にある資源を有効に活用して、循環型社会を目指し「菜の花プロジェクト」に取り組んでいます。

循環サイクル図にあるように、学校給食の残菜を、有機質肥料に活用して菜の花畑を栽培し、菜種油が取れました。

その菜種油は、市内の各学校に配布され学校給食に利用されています。西二小でも3月の献立に活用されますのでお知らせします。子どもたちからも、ぜひ感想を聞いてみてください。

3月2日 豆とソーセージのトマト煮

3月6日 すき焼き煮

3月9日 中華どんぶり

3月10日 えび天

3月11日 ポークカレー

3月12日 とんかつ

3月13日 いりどり

3月16日 豚汁

3月18日 ひじきのいり煮